

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田千里丘計画新築工事	階数	地上10F、地下0F
建設地	吹田市千里丘北	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、法22条地域	平均居住人員	540 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2020年12月5日
敷地面積	5,242 m <sup>2</sup>	作成者	塩田 雅樹
建築面積	1,557 m <sup>2</sup>	確認日	2020年12月5日
延床面積	12,456 m <sup>2</sup>	確認者	塩田 雅樹



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超え

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	82%
③上記+②以外の	82%
④上記+	82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

音環境	3.5
温熱環境	2.9
光・視環境	3.6
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.5
耐用性	3.2
対応性	3.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.5
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.7
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネに配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材を使用し化学汚染物質の発生を抑制した。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り植込みを設け草木を植樹した。
LR1 エネルギー	LED照明及び省エネ設備機器を採用した。	LR3 敷地外環境 地球温暖化への配慮をした。
Q2 サービス性能	維持管理において管理しやすい壁材、床材を使用した。	
LR2 資源・マテリアル	節水に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0116

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田千里丘計画新築工事
	建設地	吹田市千里丘北
	用途/区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		<b>B+</b>																
①	CO2削減		<b>4</b>																
②	みどり・ヒート アイランド対策		<b>3</b>																
③	建物の断熱性		<b>3</b>																
④	エネルギー削減		<b>4</b>																
⑤	自然エネルギー直接利用		—																
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	<table border="1"> <tr> <td>太陽光発電</td> <td>—</td> <td>風力</td> <td>—</td> <td>地熱</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>—</td> <td>水力</td> <td>—</td> <td>バイオマス</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </table>	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—	
太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—												
太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—												

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.5	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		